



小樽を映す きらめきのガラス

ようこそ、おたる北一硝子へ。

私たちは一世紀以上前の創業時から、小樽で手作り硝子を作り続けています。近年の機械技術は著しく発展していますが、手作り硝子には、職人にしか生み出せない温もりや趣があります。私たちはその素晴らしさをお客様の生活の中へお届けしたいと考え、四季折々の暮らしに溶け込む季節の硝子器を提案しております。手作り硝子に触れて頂いた多くのお客様に、心豊かな暮らしが訪れます事を願っております。それではごゆっくりとお買い物をお楽しみください。



北一硝子の歴史

北一硝子の前身、浅原硝子が生まれたのは、小樽函館間の鉄道工事が始まる前年の明治34年(1901年)のこと。初代社長の浅原久吉が、小樽で石油ランプの製造を始めました。電気が普及していない当時、石油ランプは生活の必需品でした。

さらに明治43年(1910年)には漁業用の浮き玉の製造も始めました。当社は、暮らしに密着した製品を作り続けたいという思いがある為、ライフスタイルの移り変わりと共に製品も変わっていき、今では暮らしを彩るテーブルウェアが中心となりました。



小樽・明治期の繁栄の歴史

小樽繁栄のルーツはニシン漁にあります。明治に入り、北海道開拓が本格化すると、多くの開拓移民が小樽に上陸し、それを支える様々な開拓物資や生活用品を満載した北前船(弁財船)が集結、商港としての発展基盤がここで生まれます。

明治13年になると日本で三番目の鉄道が札幌との間に敷かれ、流通の要となった小樽では、港湾の整備が進められ、百棟以上もの積荷を保管する木骨石倉庫が次々に立ち並びました。当社の代表的な店舗施設である三号館もその一つでした。

営業時間 9:00~18:00 (年中無休)
※店舗により異なります。



公式HP
<https://kitaichiglass.co.jp/>



硝子ショップ公式通販サイト
まごころお届け便
<https://www.kitaichiglass.shop/>



Instagram



YouTube

@kitaichiglass

@kitaichiglass_otaru_official

@kitaichiglassotaru389

ご購入、ご贈答は



北一硝子

住所/ 〒047-0027
北海道小樽市堺町7番26号
電話番号/ 0134-33-1993 (代表)



この地図の距離間隔は、紙面の都合上実際と多少異なりますのでご了承ください。

参考までに JR小樽駅前より 徒歩で街並をいきました、運河までは約10分。北一硝子三号館や北一硝子アウトレット、北一ヴェネツィア美術館までは約20分かかります。

※南方には朝里川温泉とスキ場ゴルフ場。JR南小樽駅より徒歩で北一硝子三号館、北一硝子アウトレット、北一ヴェネツィア美術館まで約10分。



運河までは約10分。北一硝子三号館や北一硝子アウトレット、北一ヴェネツィア美術館までは約20分かかります。

